



こまくさ

平成29年

5月12日(金)

No.5

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!~

5月の連休明けから子どもたちは、運動会練習に余念がありません。6年生を中心に、応援練習が始まりました。6年生の計画で、各色の応援練習が進められます。最初は上手にできなかったり、予定した応援が変わっていったりと、アクシデントを乗り越えながら改善されていきます。アクシデントやトラブルを乗り越えることで子どもたちは成長していきます。運動会当日は、完成された応援になりますが、そこまでどのようにして練習してきたのか、お子さんに話を聞いておいていただくと、また見方も違うかもしれません。

今回は、運動会と課外活動についてお知らせします。

運動会について

運動会は、学校行事の「健康安全・体育的行事」という種類の行事になります。この中には、避難訓練や交通安全教室なども含まれます。避難訓練や交通安全教室は、命を守ることが中心になるので、どちらかと言えば「楽しい」行事ではありません。それに対して、運動会は、子どもたちに任せる部分もつくることができます。また、スポーツの醍醐味である勝ち負けもあり、子どもたちにとってはわくわくドキドキの行事になります。もちろん、スポーツが不得意で楽しくないとか、負けて悔しいから楽しくないとかいう子もいます。しかしながら、子どもたちは、色々なことを乗り越えて成長していきます。運動の苦しい部分を乗り越えて強く健康な身体をつくったり、負けたときの悔しい気持ちを乗り越えて勝者にエールを贈ったり、次の機会に勝てるように努力したりするなど前向きな人間になることが大切です。

また、チームごとに色々と計画を立てさせ、運営を任せるのは、子どもたちの自治能力を育てたり、協力の大切さを知ってもらったりのねらいもあります。それぞれの色に所属する子どもたちは、勝つために努力して、チームへの所属感を高めます。

職員は、運動会の計画を立てるときに、ねらいを達成するために、次のような点に配慮をして計画を立てます。

- ① 運動が好きになり、体力を高められるようにする。
- ② 種目を考え、走力だけで勝ち負けが決まらないものも入れ、みんなが楽しめるようにする。
- ③ 勝ったり負けたりすることを受け入れられるようにする。
- ④ 協力して活動する場面をつくるようにする。
- ⑤ 少しの負荷をかけて、心や体が強くなるようにする。

6年生は、学校のリーダーとして、応援の原案を考え、色毎に提案して練習します。5年生までは、人前でうまく話せないだとか、恥ずかしいだとか言っていた子どもも、やらざるを得ない状況になり、それがきっかけとなってやってみて、成長した姿を見せてくれる子どもも数多くいます。また、上の学年が真剣であれば真剣なほど下の学年も頑張ろうとします。



運動会は、こうしてつくられていきます。また、同じようなことを毎年やってはいますが、運営する子どもたちは毎年違います。初めての経験をしながら成長していきます。1年生から、学級の係や当番、話合いの活動をたくさん経験していると、大きな行事で力を発揮できるようになります。

今年の6年生もよく頑張っています。また、下の学年の子どもたちも協力して頑張っています。気持ちが運動会テーマにも表れています。

どうぞ、お子さんをたくさんたくさん褒めてあげてください。



《写真1～表の写真～》

赤組のエールの練習

《写真2～上の写真～》

手本を見せている白組の6年生

《写真3～下の写真～》

6年生の話を真剣に聞く黄組の子どもたち

課外活動

連休中の課外活動の結果です。子どもたちが色々と活躍していました。

《サッカー》

4月29日の角館セレジスタカップのU10に、セレジスタで出場した写真左から、3年T.さん、4年T.さん、O.さん、T.さんの4名です。結果は、準優勝でした。おめでとうございます。



《野球》

5月3日、4日、第30回全国優勝記念後条旗争奪牛島招待野球大会に招待されたイーグルスは、1日目の予選リーグで船越に7-2、四ツ小屋・北手に9-2で勝ち上がりました。2日目の決勝トーナメントでは、天王に4-3で勝ち上がり、決勝に進みました。決勝は角館に1-8で敗れてしまいましたが、準優勝というすばらしい成績でした。おめでとうございます。

《剣道》

羽後町総合体育館で行われた5月3日の県南小学校剣道優勝大会、角館中学校で行われた4日の角館選抜県南小中剣道大会に出場した剣道の皆さんは、羽後町では団体戦が2回戦、個人戦ではA.さんが3回戦、M.さんが2回戦まで勝ち進みました。また、角館では、団体戦を5チームで戦い、2勝2敗でした。どちらも攻めの姿勢を貫き、頑張った選手です。また応援よろしくお願いします。